仏教とお寺をやさしく解説



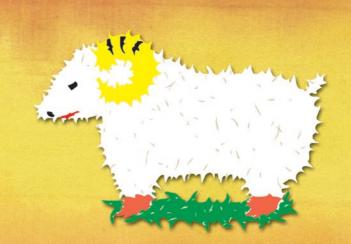
Saiganji Sainomiyako Memorial Park News

2015年1月 第19号 (年4回発行)

新年号

発行部数3千部

厄払い節分会法要のご案内 **し福神めぐりウォーキング(新年開運七草粥の会)ご案内**



いたしい。 平成二十六年も終わりに近づきました。西願寺では、 平成二十六年も終わりに近づきました。西願寺院 のではないですか? 来年平成二十七年は、西願寺開 るのではないですか? 来年平成二十七年は、西願寺院 と常にお考えの御住職に西願寺についてお話しを伺 と常にお考えの御住職に西願寺についてお話しを伺 とないですか? まました。西願寺では、



西願寺本堂

うの

が今後の課題なのだと思います。



お月見チャリティーコンサートより

が過ぎたように感じるのですが…。 一年を振り返ると平成二十六年は、めまぐるしく時間

住職 西願寺のある遊馬の地域は比較的、平穏なところだたり手配していると時間なんてあっという間に過ぎていったり手配していると時間なんであっという間に過ぎていったり手配していると時間なんであっという間に過ぎていったり手配していると時間なんであっという間に過ぎていったり手配していると時間なんであっという間に過ぎていったり手配していると時間なんであっという間に過ぎていったり手配していると時間なんであっという間に過ぎていると時間なんであっという間に過ぎていったりでは、おきの行事があります。

·すいよう行事の準備も工夫されていますよね。)、8月の施餓鬼会では、落語の高座…と皆さんが参加し 【 2月の節分会では、力士が豆まきに来てくださいます

南無阿弥陀仏を称えることに意味があるのですが…。来は、法要に出て阿弥陀さまの教えを聞かせて頂き一緒にた頃に塔婆だけ取りに来る方などもいらっしゃいます。本のか参加される方が増えないのが悩みです。法要が終わっ 住職 それでも、施餓鬼会などは時期的にも足を運び辛い

問まずは、今までお寺の行事に参加したことがない方に

別な行事などはお考えですか? 年を迎えるということですが、 度でも来てもらえるといいですね。 西願寺は開山四〇〇 何か特

住職 ばいいなと考えています。 方の名前を彫った記念碑を建立できれ と本堂の建て直しの際に寄付を頂いた を記した小冊子を作る予定です。それ せて法要を執り行うことと、寺歴など 考えていませんが、 記念事業という程大きなことは お施餓鬼の時に併

住職 きました。 してくれたので位牌をつくることがで 住職だけは先々代がきちんと調べて残 からない部分もあるのですが…。歴代 失してしまったりして詳細なことがわ 時期があったり、火災などで資料が消 わかるものというのは嬉しいですよね。 寺歴や昔のここら辺の様子などが そうですね。ただ、住職不在

もここにあるのでしょうか? なりますが、歴代のご住職たちのお墓 丹羽ご住職が西願寺第三十二代と

りましたので、ここで亡くなったので 勤めてもその後他の寺に移ることもあ いいえ、昔は一つの寺の住職を



ぎて文字の判別もできないものもある 時に傾いたり傷んだりしたので、 る歴代住職のお墓も、 住職のものか確認したのですが、 の文字などからここにある墓碑がどの んと手を入れていきたいと思って墓碑 なければお墓はありません。うちにあ 東日本大震災の きち 古す

ことですね。 うことは、歴史上の出来事では大阪夏 り明治、 寺の開山が元和元年(1615)とい 問 の時代をこの地で見守ってきたという の陣の時ですし、その後江戸時代とな ○○年という歴史を感じますね。西願 なるほど。そんなところからも四 大正、昭和、平成といくつも

たちが今ここにあるのも多くの先人や、 また阿弥陀さまのおかげと気づかされ はい、そうですね。改めて、

問 最後に、新年を迎えるにあたり一

言お願いします。

と思います。 ことも必要ですが、日々感謝の心を持 心のゆとりをもって過ごして頂きたい さな事でも有難いことなのだと思える なるのだけれど、連続した時間の流れ ではないでしょうか。皆さんにも、小 って大切に過ごすことも重要な事なの 目として気持ちを新たに誓いをたてる の積み重ねが毎日です。新年などを節 毎年、年の暮が来て新し

問 すね。新年は、一日一日を意識して丁 寧に過ごしたい思います。 の一日も歴史の中の一つということで 本日はありがとうございました。 つながる時間の中で、私たち自身

年もよろしくお願い致します。



シリーズ浄土宗

「一枚起請文」法然上人最後の教え

恩び、ご遺訓の「一枚起請文」の御忌会では、上人のご遺徳を毎年、浄土宗の宗祖法然上人

なものなのでしょうか?が声高らかに拝読され営まれます。一枚起請文とはどのようが一



元祖大師法然上人御遺訓 一枚起請文

思ううちにこもり候也。 申すことの候は、 われみにはずれ、 と思いとりて申すほ だ往生極楽の為には南 入道の無智の輩に同じうして、 の法をよく、学すとも、 また学問をして 念仏すべし マクの 、本願にもれ候べし。 皆決定して南無阿弥陀仏にて往生するぞと、 かには、 無阿弥陀仏と申して疑いなく往生するぞ 者たち 此外に奥深きことを存ぜば、 念の心を悟りて申す念仏にも非ず。 一文不知の愚鈍の身になして、 別の子細候わず。 の 智者のふるまいをせずしてただ 沙汰し申さるる観念の念仏 念仏を信ぜん人はたとい 但し三心四修と 二尊のあ ににも

証のために両手印をもってす。

別儀を存ぜず。滅後の邪義を防がんがために所存を記し畢。浄土宗の安心起行此一紙に至極せり。源空が所存此外に全く

建曆二年正月二十三日

大師在御判

建暦二(1212)年一月二十三日、病の床について 建暦二(1212)年一月二十三日、病の床について 建暦二(1212)年一月二十三日、病の床について 建暦二(1212)年一月二十三日、病の床について 建暦二(1212)年一月二十三日、病の床について 建暦二(1212)年一月二十三日、病の床について

歳でした。在の知恩院の地)でお亡くなりになりました。御年八〇在の知恩院の地)でお亡くなりになりました。御年八〇暦二(1212)年一月二十五日、京都・東山の吉水(現法然上人は、一枚起請文をしたためられた二日後、建

山黒谷金戒光明寺に大切に保存されています。
から「御誓言の書」とも呼ばれ、ご真筆の原本は、大本『一枚起請文』は、法然上人のお誓の文章であること

御忌会

され全国から多くの参詣者が集まり盛大な御忌が営まれ忌が勤められていましたが、明治一○年から四月に変更恩院では古来、上人のご命日にあたる一月二十五日に御法然上人の忌日に営まれる報恩感謝の法要。京都・知

仏事実践教室

仏壇 の大掃除

も大掃除をしましょう。 ことも…。年末は、特に念入りに仏壇 も、目の届かないところが汚れている 仏壇や仏具の掃除をしていて

仏壇の手入れ

をやわらかい布な を払ったり、 毛ばたきでほこり 仏壇の掃除は、



りと乾拭きをします。 その場合、水気を残さないようしっか たやわらかい布を硬く絞り拭きますが、 にくい汚れは、 お線香やロウソクの煙などによる落ち ぬるま湯などにひたし

紋など油性の汚れがついてしまった場 毛ばたきや筆などを使い払い落としま かい布で軽く拭き取るようにします。 合はシリコンクロスや綿布などやわら 布でふくこともしないでください。指 また傷つきやすいので直接手で触れず、 隅や内障子のほこり、彫刻 金箔部分は、手の油分や汗を嫌い、 0 が隙間

> 用の洗浄剤などで汚れを取ります。 拭き取って、汚れてしまった場合は専 分に弱いので、手で触れた部分は軽く 蝶番やかざり金具の部分は、 特に塩

ご本尊の手入れ

ほこりを払います。 ご本尊も毛ばたきや筆などをつか 41

でもかまいません。 でもよいし、形も立像、 祀りする阿弥陀如来は、絵像でも彫像 浄土宗の本尊は阿弥陀如来です。 座像などどれ お

法然上人の二祖を祀ります。 勢至両菩薩、 にまつり、その左右の脇壇に、 阿弥陀如来は仏壇の中央奥、 あるいは善導大師と宗祖 須弥壇

仏具の手入れ

戻せます。 ば光沢がなくなったものも輝きを取り ます。真鍮磨きや専用の洗浄剤を使え します。真鍮の仏具も布巾で拭き取り スや綿布などやわらかい布でから拭き 違います。塗りの仏具はシリコンクロ 仏具は種類も多く、 素材もそれぞれ

きは、 香炉は、 燭台にロウソクのロウがたまったと ロウ除去液を使ってとります。 線香の燃えカスなどで灰が汚

> ます。 との灰の表面は灰ならしできれいにし の手入れをします。ふるいにかけたあ れているときは、 灰ふるいを使って灰

きれいになった仏壇で

ね。 仏壇に家族そろって初詣をしたいです 新年はまず一番に清々しい我が家の

【番】 【おはこ】

十八番の語源には諸説ありますが、 その中の 陀さまが立てた四十八の誓願の中の第十八願に由来すると いうものがあります。

四十八願のうち第十八番は「念仏をす たちを必ず救済する | の第 重要視することから とを指すようになったとか…。

あなたの十八番は何ですか?

遊馬・柳島 七福神めぐりウォーキング (新年開運七草粥の会) のご案内

今年も、新年開運七草粥の会を開催いたします。7カ所の神社寺院をめぐり御朱印をいただく楽しい行事です。ゴールの西願寺では記念品と開運七草粥がいただけます。

新年最初の行事で健康的に楽しく新しい年を迎えませんか?

どなたでもご参加できますのでどうぞお気軽にご参加ください。

日 時 平成27年1月7日(水)

10:00から12:00の時間内で巡っていただきます

参加費 100円 (※保険料として)



厄払い節分会法要(豆まき)のご案内

西願寺では、節分会法要を開催いたします。 当日は、厄払い法要の後、関取による豆ま きが行われます。

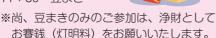
平成27年度に前厄、本厄、後厄にあたる善男善女の方は是非お申込みご参加ください。

冥加料 10,000円(祈祷料、会食代) 日時 平成27年2月3日(火)

10:00 受付

10:30 節分会法要

11:30 豆まき



西願寺 平成26年度東日本大震災復興支援 第5回 十三夜お月見 チャリティーコンサート開催報告

去る10月10日、西願寺本堂にて第5回お月見チャリティーコンサートが開催されました。この日はラテンハープとも呼ばれる

アルパの演奏が行われ、 夜のお寺の本堂が美しい 音色で彩られました。





季節の雑学 ■

ご馳走の由来

お正月は、親戚が集まりおせちを囲んでみんなでご馳走を食べる家も多いのでは?

ご馳走の「馳走」とは、早く走るとか年月が早く過ぎ去る、また 走り回る、奔走するなどの意味があります。

その昔、客の食事を用意するために馬を走らせ食材を集めたり、煮炊きに走り回り用意 することからおもてなしの意味が含まれるようになったそうです。

そして、感謝の意味で「御」と「様」がついた「ご馳走様(ごちそうさま)」は江戸時代後半から食後の挨拶語として使われるようになったとか。

禅宗寺院では、台所や食堂に足の速いことで有名な韋駄天が祀られているのを見かけます。一説には、釈迦の為に食材を駆け巡って集めたとされ、そのことが「ご馳走」の由来となったという話もあるそうです。



平成27年 年回表

年ごとの命日を祥月命日といい、年 回にあたった年の、この日に行う法 要が年回(年忌)法要です。この法 要では亡くなった方とご縁のある方 が集まり、故人を偲びながらお勤め します。

1周忌 平成26年逝去

平成25年逝去 3回忌

7回忌 平成21年逝去 13回忌 平成15年逝去

17回忌 平成11年逝去

23回忌 平成5年逝去

27回忌 平成元年逝去

33回忌 昭和58年逝去

37回忌 昭和54年逝去

50回忌 昭和41年逝去



一お便り募集■

仏事の疑問

100回忌 大正5年逝去

次号は平成二十七年二月発行予定の「春のお彼岸号」です。

や悩みごと、身近なできごとや日頃感じていること: どうぞお気軽にお寄せください 編集部では皆さまからのお便りを募集しております。 F A X 東京都千代田区飯田橋四 - 七 - 十一 カクタス飯田橋ビルフF 西願寺・彩の都メモリアルパーク通信 イオ株式会社 0 (3265) 1392 Mail: info@io-co.net 「さんが」 編集部 川柳など、

彩の都メモリアルパーク管理事務所 年末年始休業のお知らせ

◆年末年始休業日◆

平成26年12月28日(日)~平成27年1月3日(土) 年末年始の休業期間は管理事務所における事務手 続き、電話問い合わせなどの業務はおこなえません。 尚、墓所へのお参りは通常通り開門しております のでご自由にいらしてください。

平成27年 年間行事案内 西願寺

修正会 (新年をむかえての法要= ※1月 1日(木) おつとめ)

7日(水) 七福神めぐりウォーキング(新年 ◎1月 開運七草粥の会)

◎2月 3日(火) 厄払い節分会法要

※2月15日(日) 涅槃会(お釈迦さまの命日)

◎3月18日(水) 春の彼岸会 ~24日(火)

※4月 8日(水) 潅仏会(花まつり) お盆会 (東京棚経)

◎7月13日(月) ~16日(木)

◎8月 2日(日) 合同新盆供養

旧盆会 ◎8月13日(株) ~16日(日) (地元棚経)

◎8月18日(火) ◎9月20日(日)

大施餓鬼会 秋の彼岸会 ~26日生

◎10月23日金 第6回十三夜お月見コンサート ※11月23日 (念仏をとなえて善根をつ む法要=おつとめ)

※12月 8日(火) 成道会(お釈迦さまのお悟りの日) ※12月25日金 仏名会(念仏をとなえて一年を反 省する法要=おつとめ)

毎月25日は念仏会を開いております ◎印は予定をたてて是非ご参詣ください。 ※印は現在、寺だけで自主的に行っている法要=おつとめ です。

> 各行事の参加申し込み・お問合せは 西願寺までご連絡ください

TEL. 048-925-1723 FAX. 048-925-1789



◆編集後記◆

和に暮らす事を意味しているそうです。また、「未」 ると、西願寺の歴史の重みを感じてしまいますね。 も、さすがに400年はあっという間という訳に 節目の年になるそうです。早く感じる時間の流れ 当に早いですね。来年は、西願寺開山400年の すね。新年もよろしくお願い致します。 だとか…。新しい年が穏やかな年であるといいで の字は、象形文字で木の枝葉の茂った様を表すの 群れをなす羊は、家族の安泰を示しいつまでも平 和元年)。大阪夏の陣があった年です。そう考え はいきません。400年前というと1615年(元 ました。毎年言っていますが、 に近づきそろそろ来年のことを考える時期になり つじ)年。新年はどのような年になるのでしょう。 さて、平成27年、干支でいうと丁未(ひのとひ 今号の「さんが」は新年号。平成26年も終わり 一年が経つのは本

発行者

遊馬山一行院 西願寺

〒三四〇一〇〇三一 埼玉県草加市遊馬町一一六〇一九 **彩の都メモリアルパーク** FAX 〇四八一九二五―一七八九 「FAX 〇四八一九二五―一七八九 「FAX 〇四八一九二五―一七二三

企画・編集・製作

FAX ○四八一九二 電 話 ○四八一九二

「さんが」編集部「さんが」編集部を開き、彩の都メモリアルパーク通信西願寺、丹羽義昭住職